

意見交換会での意見・質問（質問担当者） 2011/12/11 時点

作成：京都会館再整備をじっくり考える会 西本 jikkuri.kyoto@gmail.com 090-3926-4329

1) 景観・都市計画・建築に関する質問・意見

1-1) 東山の景観を、どう守っていくのか（未定）

1-2) 岡崎全体の中でこの計画をどう位置付けるのか（未定）

1-3) 都市計画規制の変更（15 から 31 メートルへの緩和）は許されるのか、景観規制への自殺行為になるのではないか（大切に作る会）

※不動産や建築関係者等の不満を強引に押し切って規制を開始したのに対し、管理監督者自身が、十分な説明義務を果たさずに規制を破ることを、どのように考えるのか。

1-4) 建築的価値の高い文化財をどう守っていくのか、守るべき京都会館の価値を京都市としてどのように認識しているか（玉村）

2) プロセスに関する質問・意見

2-1) プロセスに問題有、市民の意見を聞いて進めるべき（河本）

2-2) 2月のパブリックコメントでは必要な情報（建替・舞台高さ・工事費の規模等）を開示しない中で意見が募集された。送付した意見も反映されていなかった。部分賛成の意見（改修は必要だが計画には問題有）を全体賛成として扱われて不本意である（西本）

2-3) 舞台の高さと奥行を、誰がいつ決めたのか（松隈）

2-4) 「素案」までの改修案と、「基本計画」の間には大きな飛躍がある。この間の経緯について説明頂きたい（西本）

※継承委員会では、事務局から再三、十分に議論をして基本計画と舞台高さが決まったと発言されている。議論というには複数の参加者のいる場であり、しかも（公の委員会であるように発言するからには）公の場であったと考えられるが、誰の立会いの下で、どんな性格の場で議論されたのか。

2-5) 基本計画の改修案（A 案）の 89 億円は「機能改善可能性調査」の上限 60 億円と比較しても高額過ぎる。この違いについてご説明頂きたい（未定）

2-6) 京都会館の利用者に対する配慮が無さ過ぎるのではないかと、計画作成の中で利用者の意見を聞いたり、閉館期間中の対応を相談する機会を設けるなどではないかと（未定）

3) 改修後の施設に関するもの

3-1) 何故オペラか？（貴志）

3-2) 長期の財政的見込み、使用料、維持管理費やその他の諸経費、施設としての収支（眞田・芦田）

※びわ湖ホールは年 14 億、新国立劇場は 48 億、アルカイクホールは 9 億、現在の京都会館は 2.5 億

3-3) 過大になると思われる舞台機構のメンテナンスコストの試算はされているのか（大切にする会）

3-4) なぜ 2000 席なのか（大切にする会）

3-5) 自主事業の予定はあるのか（大切にする会）

3-6) 市民の普段使いのための機能は保証できるのか。使用料などの見通しはどうなっているのか（大切にする会）

3-7) 改修後に増大した京都会館の運営費が、財団（京都市音楽芸術文化振興財団）の収支を悪化させないか。それが京都市の音楽・舞台芸術の演奏・公演活動への財政的圧迫をもたらさないか（西本）

3-8) ロームとの契約に記された「世界的に著名な公演」が上演可能なのか、ハードとして可能か、また誘致のための活動はどうするのか、その状態を継続可能か。それが市民のためになるのか（西本）

※ハードに関しては、継承委員会の場で、委員からも不可能である旨が発言されている。

3-9) 「素案」や「機能改善可能性調査」に示された、現在の建築の改修による舞台拡張案（17～20m）と比較して、基本計画の舞台（27m）によって可能になる上演は何か。その上演の頻度はどのくらいの見込みか（西本）

4) 公共ホールとしての位置付けに関するもの

4-1) 公共ホールとしての役割、地域の文化の振興、子供の芸術活動の機会を、この計画でどのように果たしていけると考えているのか（未定）

4-2) 公共のホールの社会的な使命について、どのように理解しているのか（大切にする会）

4-3) 「貸ホール」になぜ税金をつぎ込むのか（大切にする会）

以上